

パフェづくりで縄文文化学ぶ



8/17
松の館

パフェづくりに挑戦する児童

世界文化遺産である田小屋野貝塚についての理解を深めてもらおうと、「おかしあそび考古学研究所」の下島綾美(ヤミラ)さんを講師に迎え、「たごやの貝層パフェづくり」が開催され、児童16人が参加しました。

児童たちは地層や貝層などの説明を受けた後、縄文住居展示資料館カルコの田小屋野貝塚コーナーを見学し、貝層の堆積状況について学びました。

見学を終えた児童は、いよいよパフェづくりに挑戦。クッキーを土器、アーモンドチップをシジミ貝に見立てるなど、お菓子を堆積物に見立てて容器に積み重ね、パフェで貝層を再現しました。

柏小2年の工藤花恵さんは「きれいに作ることができて楽しかった。今の場所が昔は海だったことを知って驚いた」と話し、児童たちはパフェづくりを通じて楽しみながら縄文文化を学びました。

大きなメロンに大はしゃぎ 園児が収穫体験

7月14日からダイソーイオンモールつがる柏店の入り口で展示しているプランター栽培のメロンが収穫時期を迎え、車力こども園とかしわあっぶるこども園の年長児15人が、市内の若手メロン生産者4人と一緒に収穫体験を行いました。

この日、イオンモールつがる柏のしゃこちゃんコートには、生産者が丹精こめて育てたメロンの鉢がずらりと並び、園児たちは生産者からの手ほどきを受けながら、真剣な表情でつるをはさみで切り取りました。

栽培した生産者の高橋佑弥さんは「園児たちが楽しそうに収穫していてよかった。今年はサイズが大きく、網目模様もきれいにできた」と話しました。

かしわあっぶるこども園の小枝侑平くんは「つるが固くて切るのが難しかったけど楽しかった」と笑顔で話しました。



8/18
イオンモール
つがる柏

生産者と一緒にメロンの収穫に挑戦する園児

しじみのだしに舌鼓 給食で児童生徒に大好評



8/29
木造中学校

しじみ汁を堪能する生徒たち

車力漁業協同組合(尾野明彦代表理事組合長)が、地元の特産品を市内の児童生徒たちに知ってもらい、地産地消につなげようと、昨年に続き今年も市にヤマトシジミ122kgを寄贈しました。

寄贈されたシジミは、8月29日から9月10日にかけて市内の全小中学校と森田養護学校の学校給食に活用され、この日、木造中学校(中島谷正史校長)ではしじみ汁として生徒たちに配膳されました。

3年の八木橋輝太さんは「シジミのだしがきいていてとてもおいしかった。給食で食べることができてうれしい」と話し、しじみ汁は生徒たちから好評で、おかわりがなくなるほどの人気でした。

上原げんと杯 高校1年生が栄冠つかむ

第47回上原げんと杯争奪のど自慢大会(上原げんと杯実行委員会主催)が開催され、予選を勝ち抜いた歌手が、集まった聴衆約600人の前で自慢の歌を披露しました。

この日、予選を勝ち抜いた30人による準決勝、上位10人による決勝、さらに決勝上位3人による優勝決定戦が行われました。1、2位が接戦となったため、両者による優勝決定戦が行われ、優勝者が決定しました。

見事優勝に輝いたのは、演歌歌手を目指す弘前市の柴田学園高校1年の武田理粋さん。優勝決定戦では憧れの演歌歌手三山ひろしさんの「お岩木山」を熱唱し、昨年に続く2度目の挑戦で栄冠をつかみました。

武田さんは「高音の音量を一定にできるように練習してきた。歴史ある大会で自分が優勝しているのかという気持ちもあるが、うれしい」と喜びを語りました。



8/30
松の館

熱唱する武田さん

遺跡内で縄文ロマンを体感



9/6
亀ヶ岡石器
時代遺跡

勾玉作り体験を楽しむ子どもたち

世界文化遺産登録4周年を記念し「Jomon Fes. 亀ヶ岡遺跡・田小屋野貝塚まつり」(NPO法人つがる縄文の会主催)が開催されました。

会場では、クラフトや飲食マーケットが並び、ステージイベントではもりた保育園の演舞や、縄文文化に魅せられたミュージシャンたちの演奏などが披露され、まつりを盛り上げました。

また、勾玉作りやミニ石斧作りなどの縄文体験コーナーも設けられ、多くの親子連れでにぎわいました。

勾玉作り体験に参加した森田小3年の佐藤旭くんは「石を削るのが難しかったけど、きれいに磨くことができてすごく楽しかった」と笑顔で話しました。

5年生が田んぼで稲刈り体験 手作業の大変さを実感

瑞穂小学校(山舘伸太郎校長)の5年生35人が、総合的な学習の時間に、5月に学校田で自分たちが植えた「まっしぐら」の稲刈りを体験しました。

この日、田んぼは前日の雨の影響でぬかるんでいましたが、保護者や地域住民の協力のもと、泥に足を取られながらも、児童たちは楽しそうに稲刈りに取り組んでいました。

稲刈りを体験した伊東珠奈さんは「今は機械でやるけど、手でやるとこんなに大変だとわかった。コメはおにぎりにして食べたい」と話しました。

刈り取った稲は、調理実習で使用するほか、学校創立20周年記念式典で来場者に配布される予定です。



9/8
瑞穂小学校

自分たちで刈り取った稲を協力して運ぶ児童たち